

旧中山家住宅主屋、離れ屋及び内蔵、中蔵、米蔵、長屋門



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうなかやまけじゅうたくしゅおく、はなれやおよびうちぐら、なかぐら、こめぐら、ながやもん
所在地	倉敷市連島町西之浦字長堂
登録年月日	平成30年11月2日
解説	<p>大正3～4年頃に建設。高梁川東岸の丘陵南麓にある実業家の住宅。主屋は敷地中央に南面して建つ入母屋造(いりもやづくり)の平屋建てで、屋根の周囲に深い軒の下屋(げや)を廻し、正面に玄関を出す。内部は中廊下を通して前後に座敷を並べ、15畳の表座敷に大ぶりの座敷飾りを備える。良材を用いた上質な造作(ぞうさく)をもつ豪壮な和風住宅である。</p> <p>主屋西側に渡廊下で接続する離れ屋及び内蔵は二階建てで、客座敷であるあかめけた離れ屋と家財蔵である重厚な土蔵造(どぞうづくり)の内蔵を連結した特色ある付属建物である。</p> <p>敷地後方には、高い石積基壇(いしづみきだん)上に土蔵造二階建ての中蔵と米蔵が並んで建ち、重厚な屋敷構えを形成している。</p> <p>敷地正面に建つ桁行(けたゆき)27メートルに及ぶ長大な長屋門は、中央を間口の広い門口(かどぐち)とし、城門を彷彿させる雄大な表門である。</p>
アクセス方法	水島臨海鉄道栄駅から車で10分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	旧中山家住宅主屋、離れ屋及び内蔵、中蔵、米蔵、長屋門
よみかた	きゅうなかやまけじゅうたくしゅおく、はなれや およびうちぐら、なかぐら、こめぐら、ながやもん
しょざいち (所在地)	倉敷市連島町西之浦字長堂
とうろくしたひ (登録した日)	平成30年11月2日
せつめい	高梁川の東岸にある実業家の住宅で、大正3～4年頃に建てられました。広い敷地には、毎日の生活を送る主屋と離れ、蔵があり、敷地に入りをするための幅27mもの大きな門がかまえられています。